

「第3回アドバイザー会議」における評価区分及び評価内容

調書番号: 4 事業名: 乳幼児医療費補助金

アドバイザー	評価区分	評価内容
小口アドバイザー	「要改善」	<ul style="list-style-type: none"> ・この制度は他県と比べてかなり手厚い支援になっていると思うが、その分経費負担も多い。県の負担軽減のために一部制度の見直しや工夫努力をして欲しい。 ・この制度の目的が経済的負担の軽減ということを考えると、他県と同じように所得制限や自己負担の導入ということも考える必要があるのではないか。他県の事例を参考にして検討をお願いしたい。 ・乳幼児一人当たりの負担額が他県と比べて大きくなっている。この原因を探り、ジェネリック医薬品の使用を促進するなど対策を講じていただきたい。 ・それらの対策により減った分の予算は、乳幼児の健康づくりに振り向けるということも一つの考え方ではないか。
小澤アドバイザー	「要改善」	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを取り巻く環境がかなり変化している中で、この事業の必要性はかなり高いと思う。しかし、県の経済的な負担が多くなっており、医療費の適正化を目指す上で、ジェネリック等の使用促進に向けて取り組みが必要ではないかと思う。
村上アドバイザー	「要改善」	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口無料化や自己負担を廃止したことで、利用者にとっては非常に使いやすい制度かと思う。ただ、一人当たりの県の負担額が増えているので、所得制限の導入を考えることも必要になるかと思う。市町村との関係や手続き等問題もあり、すぐには難しいと思うが、県の負担を減らす対策として、他県とも比較して検討する上での一つの課題になるかと思う。 ・窓口無料化後の医療費の増加への対応として、適正受診やジェネリックの使用促進も進めていくべき。所得制限については、利用者の声を聞くのも良いと思う。